令和7年8月28日
行政経営会議資料
行政経営部 企画経営課

資料1

令和8年度の市政経営に関する基本方針（骨子）案

＜主な構成＞

■令和8年度の位置付け

■市政を取り巻く状況

■令和8年度における市政経営の方向

＜主な変更点＞

☑「本文・記書き」の区分け削除
※文章化の際は分かりやすさに留意

☑市政経営の方向（留意点等）を整理

※従来の記書き以下で示していた施策全般にわたって個別の取組内容に触れる構成とはしない。

※基本的な考え方（方針）としての位置付けを踏まえ，次年度の位置付け，市政を取り巻く状況，次年度における対応の方向（留意点等）を示す。

＜参考：令和7年度市政経営の基本方針＞

（通達本文）
- ○令和7年度の位置付け
- ○市政を取り巻く状況
- ○まちの将来像の実現に向けて

（記書き以下）
1　市政経営の基本的な考え方
- （1）参加と協働のまちづくり
- （2）効果的・効率的な行財政運営

2　前期基本計画の推進
- （1）重点プロジェクトの取組
- （2）施策の推進及び成果向上に向けた視点

※市政経営に関する個別の内容は，基本的施策で示すこととする。

■令和8年度の位置付け

前期基本計画の最終年次
後期基本計画の策定

まちづくりの新たな局面の始まり

年度	平成（西暦）	R5（2023）	R6（2024）	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）	R12（2030）
基本構想		第6次調布市基本構想（令和4年12月議決・策定） まちの将来像『ともに生き　ともに創る　彩りのまち調布』							
基本計画		前期基本計画				後期基本計画			

○市民の安全・安心の確保と市民生活支援を基軸とした対応
※社会経済状況や市民の生活実態を踏まえた適時・適切な対応

○前期基本計画（令和5年度～8年度）の最終年次
※各施策・事業の着実な推進，目標達成

○都市基盤整備完了後におけるまちづくりの展開
※都市基盤整備の効用を最大限に生かす取組

意識のうえで
令和8年度は
『新たな5年間
のスタート』
を全庁で共有

○後期基本計画の策定（令和9年度～令和12年度）
※令和7年度下半期から検討着手，前期基本計画の振返り
及び総括を踏まえ，夢のあるまちづくりに向けた方向整理

■市政を取り巻く状況

【市民の安全・安心の確保と市民生活支援】

・震災や風水害，酷暑への対策，犯罪抑止及び防犯対策

・日常生活に困難を抱える市民へのきめ細かな支援
（生活困窮者，ひとり親家庭，子ども・若者，高齢者，障害者）

・物価高騰に伴う市民生活や市内経済への影響を踏まえた対応

【健全な財政運営】

・社会保障関係経費や公共施設マネジメント関連，都市基盤整備など様々な課題への対応に関する財政需要の増大
（サービス受給対象者の増加，経済的負担軽減策の充実など）
（学校施設更新，大規模施設整備，基盤整備連動のまちづくりなど）

・堅調な市税収入の動向も楽観視できない状況，ふるさと納税に伴う減収影響の拡大傾向は継続，各種特定財源の動向にも留意

・経費縮減及び財源確保の両面から，健全な財政運営を維持

【重要課題への対応】

防災・防犯対策，困難を抱える市民への支援，子ども・子育て家庭への支援，教育施策（ICT，不登校児童・生徒への支援），共生社会の充実（高齢者，障害者，多様性），市内経済の活性化，脱炭素・資源循環型社会の形成，都市基盤を生かした取組，大規模事業への対応（学校施設，新総合福祉センター，東部連立推進，留保地），デジタル化・DX推進（市民サービス向上，業務改革，執務環境改善）　など

■令和8年度における市政経営の方向（留意点）

◎まちの将来像の実現（ともに生き ともに創る 彩りのまち調布）

・「パラハートちょうふ」の理念に基づく様々な分野での取組
・「参加と協働のまちづくり」における多様な主体との連携
・企業やNPO等との連携（産学官連携）による地域課題への対応
・地域資源や特性を生かしたソフト・ハード両面からのまちの魅力向上

◎市政経営の2つの基本的な考え方

・市民参加・協働（子どもの意見把握・反映），市民との情報共有
・事務の効率化，働き方改革（大胆な発想・魅力ある職場への変貌）
・デジタル技術の活用（市民サービス・利便性向上，仕事の質の転換）
・経常経費縮減（創意工夫・見直し），財源確保（多様な方策の活用）

◎重点プロジェクトを基軸とする施策・事業の推進

・基盤整備の成果を生かした夢のあるまちづくりの実現（まちの変貌）
・市民生活の実態を捉えた，適時適切な対応の企画・実施
・財政の健全性維持を前提とした新たな課題への対応
・これまでと異なる発想や視点に基づく取組（市政経営における変革）